

イノベーション教育 (グローバル・ICT活用)研究部会

実施案内

Z世代をはぐくむ最先端の学びとは

令和3年12月3日(金)
L stay & grow 南砂町
(東京都江東区)

<<このような方におすすめ>>

- Z世代の教育を模索している
- コロナ禍を経て新たな学びについて考えている
- 学校現場でのICTの役割を学びたい
- プログラミング教育の現状を整理したい
- 世界の教育トレンドにも関心がある
- 「変革期」である現在 教育・学校を変えたい!

★ノートパソコンを使用しますのでご持参ください。会場にはWi-Fiとテーブルタップがございます。

募集人員：50名

参加対象：理事長、校長、副校長・教頭、グローバル・ICT・キャリア教育等担当及び一般の教員
(参加対象校：都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校)

参加費：18,000円(昼食費を含む)

講師：佐宗 邦威 株式会社BIOTOPE CEO/Chief Strategic Designer

讚井 康智 ライフイズテック株式会社 取締役/最高教育戦略責任者

コーディネーター：高橋 一也 神田外語大学言語メディア教育研究センター 客員講師

☆今後、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、当研修会はやむをえず開催を中止、延期または研修内容を変更する場合があります。その際は当研究所ホームページに情報を掲載します。ご理解の程お願い致します。

☆主催 一般財団法人日本私学教育研究所 ☆後援 日本私立中学高等学校連合会

☆一般財団法人日本私学教育研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UNビル 6階

TEL:03-3222-1621 FAX:03-3222-1683



<令和3年度当部会について>

「新しい学力観」が提唱されてから早 30 年。学習指導要領が観点別となり、生徒の学び「意欲」・「関心」の評価が重要視されるようになった。現指導要領では社会に開かれた教育を前面に押し出し、より一層その考え方が推し進められている。生涯学習(lifelong learning)、さらには「生きて働く」知能・技能という表現で、学校での学びの実社会への応用まで学力評価の観点が広まった。さらに、学校現場には GIGA スクールや探究型授業、はては海外の学校のシステムなど様々な情報が入り込み、多くの教員はその情報量に困惑している。

今年度当部会では、「Z 世代をはぐくむ最先端の学びとは」を研究のねらいとし、コロナ禍を経た新たな学び、学校における ICT の役割、プログラミング教育の現状、世界の教育トレンド等を取り上げる。このような情報過多の時代において、学校はどのように子供たちの、さらには教員の学びを支えていくことができるのか、考察する機会としたい。

★講演、対談・ワークショップ

佐宗 邦威(サソウ クニタケ) 株式会社 BIOTOPE CEO/Chief Strategic Designer



東京大学法学部卒。イリノイ工科大学デザイン学科 (Master of Design Methods) 修士課程修了。P&G にて、ファブリーズ、レノアなどのヒット商品のマーケティングを手がけたのち、ジレットのブランドマネージャーを務めた。ヒューマンバリュー社を経て、ソニークリエイティブセンター全社の新規事業創出プログラム (Sony Seed Acceleration Program) の立ち上げなどに携わったのち、独立。B to C 消費財のブランドデザインや、ハイテク R&D のコンセプトデザインやサービスデザインプロジェクトを得意としている。『直感と論理をつなぐ思考法』『21 世紀のビジネスにデザイン思考が必要な理由』『ひとりの妄想で未来は変わる VISION DRIVEN INNOVATION』著者。大学院大学至善館特任准教授・多摩美術大学特任准教授。

★対談・ワークショップ

讃井 康智(サナイ ヤストモ) ライフイズテック株式会社 取締役/最高教育戦略責任者



福岡県出身。東京大学教育学部卒。組織・人事系コンサルティング会社で勤務後、東京大学教育学研究科へ。博士課程まで在籍し、学習科学の世界的権威、故三宅なほみ先生に師事。東京大学 CoREF 元リサーチアシスタント。全国の学校・教委で協調的・創造的な学びを支援。2010 年 10 月に中高生向け IT キャンプ「Life is Tech!」を設立。現在、取締役 兼 公共・法人部門事業統括。経産省「未来の教室」と EdTech 研究会専門委員、金沢市プログラミング活用人材育成検討委員会 委員、NewsPicks プロピッカー (教育領域)。

★コーディネーター

高橋 一也(タカハシ カズヤ) 神田外語大学言語メディア教育研究センター 客員講師

神田外語大学言語メディア教育研究センター客員講師 (常勤)。慶應義塾大学大学院、米・ジョージア大学大学院でインストラクショナルデザインを研究 (全米優等生協会選出)、蘭・ユトレヒト大学大学院で認知心理学を学ぶ。2008 年より工学院大学附属中学高等学校の英語教諭として勤務し 2016 年度より中学教頭を務める。2016 年には日本人として初めてグローバル・ティーチャー賞の最終候補に選出される。現在、日本全国の学校で授業力向上の支援にも力を入れている。



◆講師・指導員 (順不同) ◆

佐宗邦威 (株式会社 BIOTOPE CEO/Chief Strategic Designer)
讃井康智 (ライフイズテック株式会社 取締役/最高教育戦略責任者)
高橋一也 (神田外語大学言語メディア教育研究センター 客員講師)
吉田 晋 (富士見丘中学高等学校 理事長・校長)
平方邦行 (一般財団法人日本私学教育研究所 理事・所長)

◆専門委員・指導員 (順不同) ◆

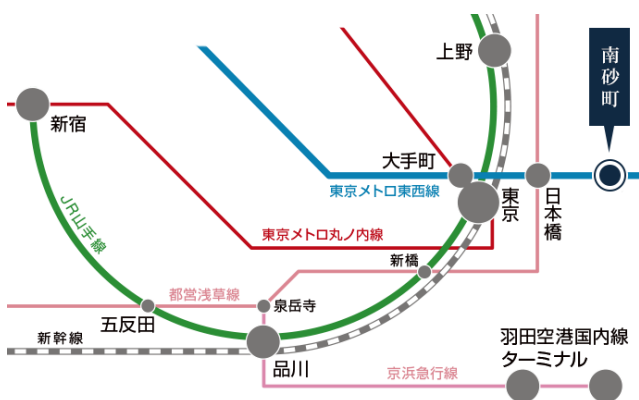
平方邦行 (一般財団法人日本私学教育研究所 理事・所長)
嵯峨実允 (学校法人藤華学院 理事長)
跡部 清 (学校法人成蹊学園 理事)
山中幸平 (学校法人山中学園 学園長)
原田賢幸 (学校法人原田学園 理事長)
川本芳久 (一般財団法人日本私学教育研究所 理事・事務局長)

◆プログラム◆

〈会場〉L stay & grow 南砂町1階「SIERRA」
 ※プログラム・内容は変更となる場合があります。

9:30-10:00	◇受付◇
10:00-10:40	◇開会式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所 理事・事務局長 1. 開会 2. 主催者代表挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所 理事長 3. 役員・専門委員紹介 4. 研修会運営方針説明 平方 邦行 イノベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員長 5. 日程説明 6. 閉式
10:50-12:30	◇講演◇ 司会・講師紹介 原田 賢幸 イノベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 演題 「希望を作る学び」 講師 佐宗 邦威 株式会社BIOTOPE CEO/Chief Strategic Designer
12:30-13:30	◇昼食◇ ※1階レストラン「Chalet」にてご用意しております。
13:30-16:00	◇対談・ワークショップ◇ 司会 跡部 清 イノベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 講師紹介 山中 幸平 イノベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 テーマ 「未定」 講師 佐宗 邦威 株式会社BIOTOPE CEO/Chief Strategic Designer 讚井 康智 ライフイズテック株式会社 取締役/最高教育戦略責任者 コーディネーター 高橋 一也 神田外語大学言語メディア教育研究センター 客員講師
16:00-16:30	◇閉会式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所 理事・事務局長 1. 閉式 2. 謝辞 嵯峨 実允 イノベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 3. 総括・閉会挨拶 平方 邦行 イノベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員長 一般財団法人日本私学教育研究所 理事・所長

◆会場案内◆



※会場併設のホテルへ宿泊が可能です。(研究所での手配は行いません。ご希望の方は各自お申込下さい。)

◆参加申込方法◆

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記申込先に FAX または郵送でお送り下さい。お電話での申込はできません。

申込先

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階
「一般財団法人日本私学教育研究所 私立学校専門研修会係」宛
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683 ホームページ <https://www.shigaku.or.jp/>



2. 申込は先着順に受付けます。募集人数を超えた場合は期日前でも締切となる場合があります。申込を締切った場合は当研究所ホームページでお知らせします。

申込み締切日 11月19日(金) 必着

3. 参加申込書受付後、「参加確認証」及び「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」をお送りします。参加費は「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）払込用紙」で、指定されたコンビニエンスストアで下記振込期限までにお振込下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。「参加確認証」は、研修会当日受付にご提出下さい。

参加費振込期限 11月25日(木)

◆注意事項◆

<参加申込みについて>

申込後、2週間以内に「参加確認証」「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」が届かない場合は電話にてご連絡下さい。

<変更・キャンセル・欠席について>

必ず FAX にて日本私学教育研究所へご連絡下さい。

キャンセル期限 11月25日(木)

キャンセルの場合は、「キャンセル確認書」を FAX にて返信します。

変更の場合は、「参加確認証（再発行）」を郵送します。上記書類が届かない場合は、必ず電話にてご確認下さい。

11月25日(木)迄のご連絡	11月26日(金)以降のご連絡及び無断欠席
事務手数料1,000円を差引いた参加費を、原則、研修会終了後1ヵ月を目途に現金書留にて返金します。	参加費の返金はできません。 研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料として全額(18,000円)を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は、状況により対応しますのでご相談下さい。

◆新型コロナウイルス感染症について◆

- (お願い)** ○会期中はマスク等の着用、咳エチケット、手洗い及び手指の消毒、社会的距離の確保にご協力下さい。
○当日 37.5 度以上の熱のある方、体調のすぐれない方などは出席をお断りする場合があります。その際は研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。
○参加費の返金・キャンセル料の取扱いについては、各研修会実施案内をご確認下さい。
○受付時に「体調管理チェックシート」をご提出いただく場合があります。
- (対策)** ○受付での検温及び手指の消毒、会場・備品の消毒・換気、座席の間隔を広げ人と人との距離をとるなど密閉、密集、密接の回避に努めます。
○必要に応じて飛沫防止パーティション等を設置します。
○講師並びに運営関係者・スタッフはマスク等を着用するなど感染防止に努めます。
○座席は指定席とします。
- (対応)** ○新型コロナウイルス感染が疑われる研修会参加者・関係者が発生した場合は、保健所等の公的機関に協力し、必要な情報提供を行います。

●新型コロナウイルス感染症への対策・対応等は随時更新しますので、当研究所ホームページをご覧ください。

◆個人情報の取扱いについて◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要が生じた場合にのみ利用します。

◆傷害保険について◆

当研修会期間中の参加者等の傷害保険には加入しませんのでご承知置き下さい。

◆参加者へのお願い◆

当研修会において主催者記録係以外による録画・録音を禁止しております。また、講師・発表者の許可無く写真・内容等を HP・ブログや各種 SNS 等へ掲載することにつきましても禁止しております。ご理解・ご協力の程よろしく申し上げます。また、今後、当研修会の広報活動等で主催者記録係が撮影した写真を使用させていただく場合がございます。会場内の様子を撮影する関係上、参加者が映り込む可能性がございますので予めご了承下さい。

